

令和 5 年度 三次市

一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート

NO, 1

(単位：千円)

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課													
2	1	8																
事業名			元気な地域創造施設整備支援事業															
事業区分		継続事業		第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」														
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%									
	①	報 償 費	①委員等謝礼		90	70	0	20	78.0%									
	②	旅 費	②普通旅費		7	0	0	7	0.0%									
	③	負担金, 補助及び交付金	⑥補助金 (建設単独)		3,907	3,850	0	57	99.0%									
	④							0										
	⑤							0										
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) ➡		3,920	決算に関する説明書											
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡			該当／頁 104											
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡		3,920	該当／頁 107											
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)																		
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源											
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他												
令和5年度	3,920		0	0	0	3,920	0											
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称															
	国庫支出金																	
	県支出金																	
	負担金等その他		ふるさと創生基金繰入金															
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			地域資源を活かしながら, 地域活性化, 産業活性化をめざす市民が, 関係者等と連携した主体的な取組を推進するため, 評価委員会において採択された事業に対し支援を行った。															
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状 況写真／図面等	報償費 (①委員等謝礼) 70千円 (単位：千円) 評価委員会委員謝礼 委員長30千円×1, 委員20千円×2																	
	負担金, 補助及び交付金 (⑥補助金 (建設単独)) 3,850千円																	
	<table><tr><td>事業名</td><td>地区名</td><td>主な事業内容</td><td>事業費</td><td>補助額</td></tr><tr><td>生姜共同選果場整備事業</td><td>四拾貫町</td><td>生姜予冷库</td><td>8,470</td><td>3,850</td></tr></table>									事業名	地区名	主な事業内容	事業費	補助額	生姜共同選果場整備事業	四拾貫町	生姜予冷库	8,470
事業名	地区名	主な事業内容	事業費	補助額														
生姜共同選果場整備事業	四拾貫町	生姜予冷库	8,470	3,850														
別添資料等	無 (事業一覧等)																	
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	地域資源を活かした, 元気な地域づくり, 新たなチャレンジ, ツナガリ人口の拡大などにつながる公益性の高い事業に取組む上で必要となる施設整備に対し支援を行うことで, 地域活性化, 産業活性化に寄与した。 本施設の整備により生産面積, 生産量の増加につながった。																	

令和 5 年度 三次市			一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート				NO, 2		
款 項 目			担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課				
2	1	8	(単位：千円)						
事業名		集落支援員事業							
事業区分		継続事業		第 5 節 参加と行動による、つながる「しくみづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報 償 費	⑤その他報償費		12,465	11,945	0	520	96.0%
	②	役 務 費	④手数料		2	1	0	1	50.0%
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①～⑤の計) ➡		11,946	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		0	該当／頁	104
	臨時会 補正				⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 ➡		11,946	該当／頁	107
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和5年度	11,946	0	0	0	0	11,946			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域集落内の巡回や住民の対話など、地域課題の掘り起こしや対策の検討、定住支援などを行い、集落の維持・活性化対策を自治組織と連携して推進していくため、希望する13地区に集落支援員を配置した。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	報償費 (⑤その他報償費) 11,945千円 ●集落支援員報償費 11,944,400円 配置人数：13人 配置地区：河内、川地、和田、神杉、田幸、川西、君田、布野、作木、吉舎、三良坂、三和、甲奴 活動内容：空き家の実態調査やその集約、定住希望者からの相談や空き家提供者とのマッチング 地域の人をつなぐ取組や地域内の話し合いの促進など								
									
別添資料等 無 (事業一覧等)	▲空き家バンク登録物件の現地案内 (移住コーディネーターと集落支援員)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	集落支援員事業により、空き家の調査や空き家バンクの登録促進はもとより、物件購入者など移住者へのフォローなど地域での様々な活動に取り組んでおり、持続可能なまちづくりに係る役割は大きい。 また、集落支援員の発想や取組により自治組織の活動が前向きに進み、若い世代の自治活動への参画の促進につながった地域もあり、集落支援員が地域づくりに対し大きな役割を果たしている。								

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名	地域共創部 まちづくり交通課				
事業名			地域の未来づくりアドバイス事業					
事業区分		継続事業	第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料		①業務委託料 (物件費)	2,592	2,585	0	7	100.0%
	②						0	
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		2,585	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 →		0	該当/頁	104	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →		2,585	該当/頁	107	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	2,585	0	0	0	0	2,585		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		住民自治組織の現状から課題を把握し, 持続可能なまちづくりを推進していくため, 各住民自治組織(19地区) の人口分析と人口推移シミュレーション, 介護分析を行い地域の状況の見える化を図った。令和5年度も希望する2地区に対し, ワークショップを開催するなど, 持続可能なまちづくりを推進するための取組に対する支援を行った。また, 新たな取組として「まちづくり交流会」の開催支援を受け, それぞれの取組の共有等を行った,						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (①業務委託料 (物件費)) 2,585千円 ●委託先: 一般社団法人持続可能地域社会総合研究所 (所長: 藤山浩) ・各自治組織 (19地区) ごとの人口分析及び人口シミュレーション, 介護分析 ・希望する地区に対し支援を実施 (2地区) 実施地区 (神杉, 吉舎) ・まちづくり交流会の企画・開催支援 開催日 令和6年1月20日(土) 内 容 講演会・パネルディスカッションのコーディネートなど							
								
別添資料等 無 (事業一覧等)	▲神杉レゴワークショップ (神杉地区自治会連合会) 神杉小学校の児童がレゴブロックを活用し 未来の町を製作			▲まちづくり交流会 (三次市住民自治組織連合会) 講演や子ども達からの活動発表, パネルディス カッションを実施				
	成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか 少しずつではあるが各地区の課題解決に向け, 地区内で新たな「集いの場」や若い世代による取組, 新たな事業を始めるための話合いの実施など, 動きがみられる地域もでてきている。 今後も, 地域の希望により, 地域づくりへのアドバイスを進め, 各地区の特色をいかしたまちづくり活動を進めていく。							

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			自治振興活動費補助事業						
事業区分		継続事業 (内容見直し)		第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	交付金		190,419	186,825	0	3,594	98.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		186,825	決算に関する説明書		
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	104	
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		186,825	該当/頁	107	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		選択事業枠において限度額に満たない地区があったため, 予算額を下回った。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和5年度	186,825	0		0	3,924	182,901			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他	協働のまちづくり事業助成金							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域住民自ら地域の課題に対応し, 生涯学習の推進と地域活動の実践を通して地域活性化を図り, 住民自治のまちづくりを進めていくため, 19地区の住民自治組織に支援を行った。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	負担金, 補助金及び交付金 (⑨交付金) 186,825千円 各住民自治組織において, 地域で掲げるまちづくりビジョンの実現に向けた取組が推進するために, 「自治活動支援交付金」を交付した。新たに, 自治活動支援交付金制度に選択事業を加えたことにより, 各住民自治組織の活動の見える化を図ることができた。								
									
別添資料等 無 (事業一覧等)	▲ 2023青河親子農業体験教室 (青河自治振興会) 営農の推進と農業を通じての都市交流 ▲ 作木町防災講演会 (一般社団法人作木町自治連合会) 地域みんなで防災の意識を高める								
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	各地域のまちづくりビジョンの実現に向けた取組を推進するための支援により, 人口の社会増や自主的な活動など一定の成果を見ている。R5年度は新たに選択事業を導入し, 各住民自治組織の活動の見える化を図った。地域の課題解決に向けた取組の推進となっている。 また, 10月をまちづくり月間と定め, 自治連通信の発行等により自治活動の周知や参画を促す活動も行われている。 今後も各地域が掲げる「地域まちづくりビジョン」に基づき, 地域がめざす形を明確にし, 自治活動を促進させていくための支援を行うことが必要と考える。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			協働のまちづくり支援事業						
事業区分			新規事業		第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤	補助金 (補助費)	8,400	7,635		765	91.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		7,635	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	104
	臨時会 補正	第2回臨時会		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		7,635	該当/頁	107	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	7,635		0	1,000	0	0	6,635		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		住民自治組織持続可能性創出モデル推進事業補助金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	人口減少・少子高齢化が進む中で, 地域課題の解決や地域資源を活用した地域住民の主体的な活動を支援することで, 持続可能なまちづくりの推進を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	【補助金】 ①協働のまちづくり支援事業 (4,596千円) 地域住民が連携して自らの地域の課題解決や元気な地域づくりを目指して取組む次の活動とする。 ・新たに取組む活動であり, 事業の趣旨に沿った活動とする。 ・一過性の活動については対象外とする。 ・実施件数等 (1)住民自治組織 (2団体, 4,000千円) 三次地区自治会連合会「ありがとう三次小学校校舎「光」の閉校式」 三良坂町自治振興区連絡協議会ハイズカ湖周辺利活用検討事業 (2)その他 (2団体, 596千円) ②地域の賑わいづくり支援事業 (令和5年度のみ実施: 3,039千円) アフターコロナを見据え, 地域住民による集いの場づくりなどの賑わいの創出に向けた取組を支援することで, 地域の元気づくりを推進するため, 地域イベントの開催など, 地域の賑わいづくりに関わる事業を対象に20団体へ補助金を交付した。 補 助 額 : 上限額 20万円/団体 (補助率3/4)								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	協働のまちづくり支援事業においては, 地域の施設を活用する中で, 地域住民が連携して取り組むことでつながりの強化や自治活動に対する理解が深まった。 また, 5年度限定の「地域のにぎわいづくり支援事業」では, コロナ禍の中で停滞していた地域イベントの開催を後押しすることで賑わいの創出につながった。								



◀ありがとう三次小学校校舎「光」の閉校式」
(三次地区自治会連合会)
町民が一体となり, 自治活動への理解を深め, 「担い手づくり」解消への一歩となった。



◀和田珈琲
(和田カフェチーム)
交流の場をつくり, お互いを知るきっかけづくりを行った。

令和 5 年度 三次市			一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート				NO, 6		(単位：千円)								
款 項 目			担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課												
2 1 8																	
事業名			三良坂コミュニティセンター耐震化事業														
事業区分		新規事業		第 5 節 参加と行動による、つながる「しくみづくり」													
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%								
	① 委 託 料		④調査測量設計監理等委託料		2,134	2,134	0	0	100.0%								
	② 工事請負費		①工事請負費		68,156	68,156	0	0	100.0%								
	③							0									
	④							0									
	⑤							0									
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) ➡				70,290	決算に関する説明書									
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡					該当／頁	106								
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 ➡				70,290	該当／頁	107								
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)																	
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源											
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他												
令和5年度	70,290	9,149	0	61,100	0	41											
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称															
	国庫支出金	地域防災拠点建築物整備緊急促進事業補助金															
	県支出金																
	負担金等その他																
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三良坂コミュニティセンターは昭和48年4月建築で、一部耐震化基準を満たしておらず、また、経年劣化による雨漏りも発生しており、利用者の安全確保のため、改修工事を行った。																
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	<table><tr><td></td><td>予算額</td><td>決算額</td></tr><tr><td>監理委託料</td><td>2,134,000円</td><td>2,134,000円</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>68,156,000円</td><td>68,156,000円</td></tr></table>									予算額	決算額	監理委託料	2,134,000円	2,134,000円	工事請負費	68,156,000円	68,156,000円
		予算額	決算額														
監理委託料	2,134,000円	2,134,000円															
工事請負費	68,156,000円	68,156,000円															
別添資料等 無 (事業一覧等)	 三良坂コミュニティセンター  耐震工事風景  防水工事施工前 防水工事施工後																
	成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	施設の耐震化及び雨漏り箇所の改修を行ったことにより、施設の長寿命化と利用者の安心安全な施設環境を整備することにつながった。															

令和 5 年度 三次市			一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート			NO, 7			
			(単位：千円)						
款 項 目			担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			自治活動拠点施設整備事業（カーター通りコミュニティセンター）						
事業区分		継続事業		第 5 節 参加と行動による、つながる「しくみづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	工事請負費	①工事請負費		2,184	2,100		84	96.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正	○	⑥（①～⑤の計） ➡		2,100	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		0	該当／頁	106
	臨時会 補正				⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 ➡		2,100	該当／頁	107
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	2,100		0	0	0	0	2,100		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			令和6年4月からカーター通り駅をコミュニティセンターとして活用するため、和室の撤去、事務室用の仕切り壁の設置、照明のLED化および公衆トイレを洋式化する改修工事を行った。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	工事請負費（①工事請負費） ・屋内改修工事（和室撤去、仕切り壁設置） 1,193,500円 ・トイレ改修工事（公衆トイレの洋式化） 770,000円 ・照明改修工事（照明のLED化） 100,980円 ・インターネット工事（インターネット接続工事） 35,200円								
	和室撤去 トイレ洋式化 照明LED化      								
別添資料等 無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			甲奴支所仮庁舎として使用している甲奴コミュニティセンターは昭和46年2月に建築され53年が経過しており、今後解体を見込んでいる。 このため、甲奴コミュニティセンターの機能をカーター通り駅に移し、コミュニティセンターとして活用する。 これまでカーター通り駅は、市民バスの待合所や地域のサロンが主な利用であり、あまり活用されていなかったが、コミュニティセンターの機能を持たすことにより、多くの地域住民の利活用ができています。						

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			ウチソト“ツナガリ”つなぐ事業						
事業区分		継続事業		第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報 償 費	②講師謝礼		162	20	0	142	12.0%
	②	需 用 費	①消耗品費		20	0	0	20	0.0%
	③	役 務 費	①通信運搬費		15	0	0	15	0.0%
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			20	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →				該当/頁	106
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			20	該当/頁	109
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	20		0	0	0	0	20		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	「“ツナガリ”人口の拡大」をめざし, 「外」と「内」でつながる関係人口や, 市内において世代や組織を超えたつながりを創出する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	「外」への理解を深める試みとして, 「カーネクスト presents 第 9 回WBSC女子野球ワールドカップ・グループB」参加チームへの理解を深め, WBSCへの機運を高めることを目指し, 広島修道大学のフランス人留学生と甲奴小学校児童, 日彰館高等学校生徒との交流事業を実施した。 【事業費】 講師謝礼 10,186円× 2 回 = 20,372円								
									
別添資料等	6/30甲奴小学校児童 (18名) との交流								
無	7/13日彰館高等学校の生徒 (207名) との交流								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	フランスという国を身近に感じて理解を深めるきっかけとなり, 交流事業後に「カーネクスト presents 第 9 回WBSC女子野球ワールドカップ・グループB」に出場するフランスチームに向けたビデオレターやはがきの作成することで, おもてなしにもつながった。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			みよし暮らし推進事業（移住者支援）						
事業区分		継続事業		第 3 節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報 償 費	⑤その他報償費		2,520	2,517		3	100.0%
	②	役 務 費	③広告料		1,000	1,000		0	100.0%
	③	委 託 料	①業務委託料（物件費）		1,000	669		331	67.0%
	④	負担金、補助及び交付金	①負担金（補助金）		368	357		11	97.0%
	⑤	負担金、補助及び交付金	⑤補助金（補助費）		16,501	14,352		2,149	87.0%
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥（①～⑤の計） →		18,895	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →		216	該当／頁	110
	臨時会 補正		第 2 回臨時会		⑧（⑥ + ⑦）事業決算合計額 →		19,111	該当／頁	111
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		補助金の申請が見込みより少なかったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和5年度	19,111	0	0	0	76	19,035			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他	協働のまちづくり事業助成金（公財）広島県市町村振興協会							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次市への移住・定住を促進するために、移住コーディネーターを配置した相談体制の充実を図り、定住フェアなどのイベントに参加して三次暮らしを紹介し、移住・定住を図った。また、各種補助事業により移住促進を行った。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	報償費②講師謝礼 50千円 ・ふるさとサポーター交流会講師謝礼 報償費⑤その他報償費 2,517千円 ・移住コーディネーター報償費 210,000円×11ヵ月分+206,010円（7月分のみ） 旅費（②普通旅費） 166千円 定住イベントへの出張旅費 165,960円 委託料（①業務委託料（物件費）） 669千円 ・定住ポータルサイト運営サポート業務委託料 499,400円 ・みよしのよしみファンクラブ会員バッチ作成委託料 168,650円 負担金（補助及び交付金、①負担金（補助費）） 357千円 ・ふるさと回帰支援センター負担金 50,000円 ・広島県交流・定住促進協議会負担金 76,000円 ・【移住フェア】ふるさと回帰フェア等出展料 231,000円 負担金（補助及び交付金、⑤補助金（補助費）） 14,352千円 ・移住者住宅取得奨励金（21件）3,150,000円 ・Uターン者実家等改修補助金（14件）4,702,000円 ・空き家バンク改修補助金（8件）5,700,000円 ・移住コーディネーター活動補助金 800,000円 ・移住支援金 なし								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	移住コーディネーターを中心に、集落支援員と連携し、移住希望者の相談に対して丁寧に対応している。年々、移住希望者の相談と空き家バンク登録の相談が増えている。 ふるさと回帰支援センターや広島県主催の移住フェアへ積極的に参加し、移住希望者へ三次暮らしをPRした。 定住に関する補助事業により、104人の移住につながった。								

移住定住フェアでの移住相談
(ふるさと回帰支援センター)移住定住ポータルサイト
(三次での暮らし方紹介など)

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名	地域共創部 まちづくり交通課				
事業名			地域おこし協力隊事業					
事業区分		継続事業	第 3 節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		⑤その他報償費	10,951	10,886		65	99.0%
	② 負担金、補助及び交付金		⑤補助金（補助費）	7,823	7,823		0	100.0%
	③ 使用料及び賃借料		③会場借上料	35	20		15	57.0%
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥（①～⑤の計） →		18,729	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁	110
	臨時会 補正	第 2 回臨時会		⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 →		18,729	該当／頁	111
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	18,729	0	0	0	0	18,729		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	人口減少・少子高齢化が進む本市において、都市部などの地域外から移住した地域おこし協力隊員が地域活動や農業などへ従事しながら地域に溶け込み、最終的には定住・定着を図る。							
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	報償費（⑤その他報償費） 10,886千円 ●地域おこし協力隊報償費 10,885,126円 ・農業支援 3名 2,796千円×3 ・スポーツ振興 1名 1,100千円×1 ・甲奴地区 1名 1,398千円×1 ※隊員1名中途退任による減額（3月補正） 負担金、補助及び交付金（⑤補助金（補助費）） 7,823千円 ●地域おこし協力隊活動補助金 3人分×1,600,000円、1人×222,066円、1人×800,000円＝5,822,066円 ※隊員1名中途退任による減額（3月補正） ●地域おこし協力隊起業支援補助金 2人×1,000,000円＝2,000,000円 使用料及び賃借料（会場使用料）20千円							
	別添資料等 無 （事業一覧等）	●2次選考会に係る前泊宿泊代 6,000円×2人＋8,000円×1人＝20,000円						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和5年度は5人の地域おこし協力隊を委嘱した。令和5年度で任期を終える2人の隊員のうち1人については、任期終了後も市の振興作物であるブドウで市内に新規就農者として定着をしている。また、1人は途中で退任し、2人は継続して活動している。 令和4年度に任期を終えた2人の協力隊から起業支援補助金の申請があり、起業支援補助金を交付して、新規就農への支援を行った。							

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名	地域共創部 まちづくり交通課				
事業名			縁つなぐ出会い創出支援事業					
事業区分		継続事業	第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助金)	1,200	204		996	17.0%
	②						0	
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		204	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	110	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →		204	該当/頁	111	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	204	0	0	0	0	204		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	少子化の要因の一つである未婚化, 晩婚化の進行に歯止めをかけること及び定住促進を目的として, 多様な出会いの場を積極的に創出する事業を行う市内結婚支援団体に対し補助金を交付した。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	・縁つなぐ出会い創出支援事業補助金 交付件数3件 ○君田自治区連合会 57,000円 3/17実施 参加者数 16人 (マッチング数2組) ○Akfour 31,000円 2/10実施 参加者14人 (マッチング0組) ○Annoii 116,000円 4/16実施 参加者数 18人 (マッチング3組)							
別添資料等								
無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行されてから少しずつ活動は回復傾向にあり, 婚活事業実施団体へ支援を行うことで, 多様な出会いの場の創出につながった。							

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			J R 芸備線・福塩線利用促進事業						
事業区分		継続事業 (拡充)		第 2 節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料		①業務委託料 (物件費)		4,000	3,493	0	507	87.0%
	② 負担金, 補助及び交付金		①負担金 (補助費)		1,191	1,191	0	0	100.0%
	③ 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)		8,000	7,856	0	144	98.0%
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正	○	⑥ (①~⑤の計) →		12,540	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →		0	該当/頁	110
	臨時会 補正				⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →		12,540	該当/頁	113
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	12,540		0	1,498	0	0	11,042		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		鉄道NWを活かした中山間地域の魅力向上事業費補助金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域間幹線交通であるJR芸備線・福塩線について, 利用者が減少傾向にあることから, 沿線自治体と連携し, その利用拡大と利用促進に向けた事業を行い, 路線の維持と沿線地域の活性化を図った。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	委託料 (①業務委託料 (物件費) 3,493千円 ● J R 線利用促進業務事業 (情報発信等) 業務委託 2,997,500円 ● 三次市西駅駐車場利用実態調査業務 495,000円 負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費)) 1,191千円 ● 芸備線対策協議会負担金 971,200円 ・芸備線沿線自治体 (広島市, 安芸高田市, 三次市, 庄原市) で構成する協議会による芸備線の利用促進策の実施に係る負担金 ● 福塩線対策協議会負担金 219,000円 ・福塩線沿線自治体 (福山市, 府中市, 世羅町, 三次市) で構成する協議会による福塩線の利用促進策の実施に係る負担金 負担金, 補助及び交付金⑤補助金 (補助費) 7,856千円 ● 三次市地域間幹線公共交通機関利用促進事業補助金 (「バス&レールどっちも割きっぷ」販売支援) 7,856,000円 年間販売実績: 15,653枚								
	 ▲ 芸備線サイクルトレイン								
別添資料等									
無									
(事業一覧等)	 ▲ どっちも割きっぷ (チラシ)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	さまざまなイベントを通じて, 鉄道に興味を持っていただき, 芸備線や福塩線の沿線活性化を図ることができた。新たに実施したサイクルトレインは新しい鉄道の利用を提案できる内容となった。 また, 「バス&レールどっちも割きっぷ」の販売は, その利用が広がっており, 自家用車から公共交通に代えて利用した事例も見られ, 一定の効果があつた。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			生活交通確保対策事業						
事業区分			継続事業		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		①業務委託料(物件費)		54,264	54,264	0	0	100.0%
	② 負担金, 補助及び交付金		①負担金(補助費)		16,658	15,377	0	1,281	92.0%
	③ 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金(補助費)		213,624	213,624	0	0	100.0%
	④ 扶 助 費		①扶助費		3,000	1,295	0	1,705	43.0%
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥(①~⑤の計) →		284,560	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →			該当/頁	110
	臨時会 補正				⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →		284,560	該当/頁	113
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)			・相乗りタクシーの利用及び申請が見込みを下回ったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	284,560		0	4,173	0	0	280,387		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		市町等運行路線再編促進費補助金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域公共交通計画に基づき、通勤や通院、通学、買い物といった市民の日常生活に係る移動手段を維持・確保するため、路線バスに対する運行支援や市民バスの運行業務委託を行うほか、相乗りタクシー事業による公共交通空白地の解消を図った。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	委託料(①業務委託料(物件費) 54,264千円 ●市民バス運行業務委託料 54,263,384円 三次市民バス(君田町, 布野町, 作木町, 吉舎町, 三和町, 甲奴町内を運行)の運行業務委託料 負担金, 補助及び交付金(①負担金(補助費)) 15,377千円 ●三次市地域公共交通会議負担金 5,628,364円 (※自家用有償運送(さくぎニコニコ便)の運行支援 1,981,354円を含む) ●三江線沿線地域公共交通活性化協議会負担金 200,000円 ●三江線代替バス(式敷三次線)運行負担金 9,548,000円 負担金, 補助及び交付金⑤補助金(補助費) 213,624千円 ●生活交通維持対策補助金 ・路線バス(備北交通, 中国バス, 十番交通, 君田交通)の運行維持に係る補助金 207,753,534円 ・ふれあいタクシーみらさか(三次広域商工会)の運行維持に係る補助金 5,870,012円 扶助費(①扶助費) 1,295千円 ●相乗りタクシー事業助成費 1,294,200円 ・申請者数42人								
	別添資料等 無 (事業一覧等)	 ▲相乗りタクシー利用助成券							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	鉄道を含めた路線バスなどの広域幹線交通と、市街地循環バス、三次市民バス、ふれあいタクシーみらさかななどの地域内交通の組み合わせにより、通勤、通学、買い物といった市民の日常生活に係る移動を支えた。路線バスや三次市民バスについては、利用実態に即した効率的な路線への再編を実施し、乗りやすいバスの運行を実施した。 また、公共交通網が不十分な地域への対策として、継続して三次市相乗りタクシー事業や、地域のNPO法人が運行する自家用有償旅客運送への支援を実施して、公共交通空白地の解消を図った。								



▲三次市民バス



▲市街地循環バス「くるるん」

▲相乗りタクシー利用助成券

令和 5 年度 三次市

一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート

NO, 14

(単位：千円)

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			高齢者運転免許自主返納支援事業						
事業区分		継続事業		第 2 節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 扶 助 費		①扶助費		2,180	1,578	0	602	72.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①～⑤の計) ➡		1,578	決算に関する説明書		
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		0	該当／頁 110		
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 ➡		1,578	該当／頁 113			
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	1,578		0	0	0	0	1,578		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			高齢ドライバーの交通事故防止と公共交通機関の利用促進を図るため、運転免許を自主的に返納した65歳以上の高齢者に対し、タクシー利用助成券など公共交通利用促進に係る支援を実施した。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等			扶助費 (①扶助費) 1,578千円 ・高齢者運転免許自主返納支援事業助成費 1,577,600円 申請件数 179件 運転免許証を自主的に返納した高齢者に対し、次のうちいずれか一つを交付。 ①市民バス等無料利用者証 (2 年度間有効) ②広島県交通系 I C カード P A S P P Y (1 万円分・有効期間なし) ③市内タクシー利用助成券 (1 万円分・3 年度間有効) 三次市高齢者運転免許自主返納支援事業 ● 対象者 ● 次の2つともに当てはまる方 ①運転免許返納時に市内に住居登録をしている65歳以上の方 ②有効期限内の運転免許証を警察に自主返納した方 ⚠ 運転免許返納後、3か月以内の申請が必要 ⚠ 行政による取消処分を受けた方は対象外 申請の流れ 1 警察署で運転免許を返納 ➡ 「申請による運転免許の取消通知書」を受け取る ➡ 自主返納から3か月以内 2 市役所で事業の申請 ➡ 定住対策・暮らし支援課 または 各支所へ 〔必要なもの〕 「申請による運転免許の取消通知書」 代理申請 申請者の印鑑 (認印可) の場合 代理人の身分証明書 3 助成券等を自宅へ郵送						

款	項	目		
2	1	9	担当部局・課名	地域共創部 共生社会推進課

事業名	高校生国際理解推進事業
-----	-------------

事業区分	継続事業	第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」
------	------	--------------------------

事業 (経費) 内の主 な費目	節名称	細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	900	831	0	69	92.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	

補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) ➡	831	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡	0	該当／頁	118	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡	831	該当／頁	119	

100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)	
--------------------------	--

歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度	831	0	0	0	0	831
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金等その他					

事業内容及び めざした目的 (具体的に)	市内高等学校での国際交流活動を通して語学力の向上や異文化への理解を育み、国際感覚豊かな人材を育成することを目的として、市内高等学校において実施される国際交流活動に対し補助金を交付する。
----------------------------	--

事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 831千円 ・高校生国際理解推進事業補助金 831,000円 広島県立日彰館高等学校及び広島県立三次青陵高等学校において実施された国際交流事業に対し、補助金を交付して活動を支援した。 【広島県立日彰館高等学校】 1.異文化比較研究 【内容】 台湾と日本の比較を通して物事を相対的に捉える見方・考え方を養う異文化比較研究において、台湾文化の情報を収集するために、台湾からの留学生を講師として招き、高校生が質問をした。 【参加者】 日彰館高等学校2学年75名 2.台湾研修旅行 【内容】 日彰館高等学校卒業生である磯永吉博士とゆかりのある場所の見学、姉妹校である国立苗栗高級中学で交流を行った。 また、台湾の歴史、文化に触れるため台湾市内や九份で研修を行った。 【参加者】 日彰館高等学校2学年2名 【広島県立三次青陵高等学校】 1.姉妹校訪問 【内容】 姉妹校である国立基隆高級商工職業学校へ訪問をし、共同で制作活動や意見交換を行った。 【参加者】 三次青陵高等学校生徒11名	
	別添資料等 無 (事業一覧等)	 台湾研修旅行 (日彰館高等学校)

成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	事業実施後、参加した生徒から、留学生や現地の方との関わりを通して、異文化や多様性への理解が深まったと感想があり、語学力向上や異文化への理解に一定の成果があった。
--	--

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 共生社会推進課				
3	1	5							
事業名			人権啓発推進事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		②講師謝礼		362	302	0	60	83.0%
	② 報 償 費		⑤その他報償費		946	732	0	214	77.0%
	③ 需 用 費		①消耗品費		527	475	0	52	90.0%
	④ 委 託 料		①業務委託料 (物件費)		500	485	0	15	97.0%
	⑤ 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)		163	163	0	0	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			2,157	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →			615	該当/頁 148		
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →			2,772	該当/頁 151		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和5年度	2,772	0	898	0	0	1,874			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	人権啓発地方委託金 (715千円), 地域日本語教育を核とした多文化共生の地域づくり支援事業委託金 (183千円)							
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	講演会の実施や, 各学校での人権の花運動, 人権ハート絵制作を実施することで, 人権について考え理解を深める機会を作る。また, 在住外国人が暮らしやすい環境づくりを推進するため, 外国人のための生活相談や日本語学習支援を実施する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	報償費 (②講師謝礼) 302千円 ・PTA人権教育講演会 26,481円 ・外国人相談に係る講師謝礼 122,232円 ・日本語学習支援スタッフ養成講座講師謝礼 152,780円 報償費 (⑤その他報償費) 732千円 ・日本語指導謝礼 674,934円 ほか 需用費 (①消耗品費) 475千円 ・人権ハート絵かがやきメッセージ展 34,839円 ・「人権の花」運動 86,788円 ・人権啓発冊子 278,300円 ほか 委託料 (①業務委託料 (物件費)) 485千円 「ひと・かがやきフェスタ2023」講師委託料 424,760円 「ひと・かがやきフェスタ2023」音響技術委託業務 60,000円 ・講演会: 大島 花子さん「うつくしい, 命」 ・日時: 令和5年12月2日 (土) 14時20分~16時まで ・参加人数: 95人 ・同時開催: 中学生人権作文表彰者による作文朗読, 人権ハート絵かがやきメッセージ, 啓発パネル等の展示 負担金, 補助金及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 163千円 ・三次地区保護司会補助金 163,000円								
	別添資料等 無 (事業一覧等)							ひと・かがやきフェスタ講演会	
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	・みよし日本語教室では, 在住外国人の日本語学習の支援をにあわせて, 日本語学習支援スタッフ養成講座を実施し, 現在活動しているスタッフの知識の向上や新規スタッフ登録者の増加に取り組んだ。在住外国人の数が増えてくる中で, すべての学習希望者に対応することができ, 在住外国人が安心して暮らせる環境づくりの推進に努めた。 ・「ひと・かがやきフェスタ2023」では大島花子さんによる講演会を実施し, 多くの方に命の尊さをはじめとした人権に対する理解が深まったと感じていただくことができた。 ・小中学生による人権ハート絵かがやきメッセージは学校単位で取り組みが行われ, 展示の場を提供することで, 人権尊重意識の普及・高揚を図ることができた。								



人権ハート絵かがやきメッセージ展

令和 5 年度 三次市			一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート			NO, 17			
			(単位：千円)						
款 項 目			担当部局・課名		地域共創部 共生社会推進課				
3	1	5							
事業名			平和推進事業（平和祈念事業）						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報 償 費	⑤その他報償費		20	20	0	0	100.0%
	②	需 用 費	①消耗品費		30	18	0	12	60.0%
	③	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金（補助費）		425	370	0	55	87.0%
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡		408	決算に関する説明書		
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		0	該当／頁	148	
	臨時会 補正		⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 ➡		408	該当／頁	151		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	408		0	0	0	0	408		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			平和を願う思いの継承と市民意識の高揚を図るため、「平和の灯ろうコンテスト」、「平和のつどいMIYOSHI2023」等の平和推進事業（平和祈念事業）を実施する。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			報償費（⑤その他報償費） 20千円 ・平和の灯ろうコンテスト（景品） 4部門×3賞 19,696円 需用費（①消耗品費） 18千円 ・平和の灯ろうコンテストの開催及び表彰に係る消耗品 17,546円 負担金, 補助金及び交付金（⑤補助金（補助費）） 370千円 ・平和のつどい実行委員会補助金 244,454円 ・【内容】「平和のつどいMIYOSHI2023」（「平和の灯ろうコンテスト」「平和への想い」の作品表彰など） 【開催日】令和5年8月4日 ・三良坂平和を願う会補助金 125,000円						
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			広島平和記念公園に手向けられた平和への願いが込められた折り鶴を活用する「折り鶴に託された思いを昇華させる取組」として、その折り鶴を使って灯ろうを制作し、「平和の灯ろうコンテスト」として実施することを広く市民に呼びかけ、市内外の福祉施設や小中学校の児童・生徒などから375点応募があり、市民約180人が参加した。 また、平和への想いを込めた折り鶴の募集には、市民から37,020羽が寄せられ、恒久平和への願いとともに広島平和記念公園の「原爆の子の像」に手向けた。 多くの市民参加による平和推進事業（平和記念事業）を展開することで、恒久平和の願いの浸透を図ることができた。						

令和 5 年度 三次市

一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート

NO, 18

(単位：千円)

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 共生社会推進課				
3	1	5							
事業名			男女共同参画推進事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委 託 料	①業務委託料（物件費）		843	369	0	474	44.0%
	②	負担金、補助及び交付金	⑤補助金（補助費）		2,075	1,987	0	88	96.0%
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥（①～⑤の計） ➡		2,356	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 ➡		190	該当／頁	150
	臨時会 補正				⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 ➡		2,546	該当／頁	153
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	2,546		0	0	0	0	2,546		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	「三次市男女共同参画基本計画（第4次）～一人ひとりがしあわせな社会をめざして～」に基づき、市民一人ひとりが、自らの選択によって仕事と地域活動を含めた暮らしの両立において充実した人生が送れるよう、男女が個人として能力を発揮する機会が確保され、ともに活躍できる社会の実現をめざし、男女共同参画推進事業を実施する。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	委託料（①業務委託料（物件費）） 369千円 ・男女共同参画推進講演会 講師委託料 56,300円 男女共同参画週間に合わせて、講演会を行い男女共同参画について理解の浸透を図った。 ・MIYOSHI2024国際女性デー 男女共同参画推進映画上映会 業務委託料 178,200円 ポスター・チラシ作成業務委託料 57,200円 男女共同参画推進映画上映を行い、男女共同参画について考えていただく機会を提供した。 ・男女共同参画推進講演会講師派遣 講師委託料 77,000円（R5年度 2件） 負担金、補助金及び交付金（⑤補助金（補助費）） 1,987千円 ・三次市女性連合会補助金 1,553,797円 男女共同参画社会の実現を活動目標に掲げている三次市女性連合会に対し、補助金を交付して活動を支援した。 ・三次市女性活動サポート事業補助金 433,089円 市民を対象に実施した男女共同参画推進事業に対し、補助金を交付した。								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	男女共同参画推進講演会・映画上映会を実施し、開催方法を変えて幅広い世代の方へ男女共同参画について考えていただく機会を提供した。また、広報紙、HP等も活用しながら市民啓発を行い、男女共同参画の理解の浸透を図った。また、三次市女性連合会の活動を支援し、講演会等を通して男女共同参画を推進した。								



MIYOSHI2024国際女性デー
男女共同参画推進講演会

令和 5 年度 三次市			一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート			NO, 19																		
			(単位：千円)																					
款 項 目			担当部局・課名			地域共創部 共生社会推進課																		
7 1 2																								
事業名			女性活躍推進プラットフォーム事業																					
事業区分			継続事業			第 3 節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」																		
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%															
	① 委 託 料		①業務委託料（物件費）		10,172	10,172	0	0	100.0%															
	②							0																
	③							0																
	④							0																
	⑤							0																
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡			10,172	決算に関する説明書																	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡			223	該当／頁	222																
	臨時会 補正		⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 ➡			10,395	該当／頁	223																
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）																								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源																	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																		
令和5年度	10,395		2,500	0	0	0	7,895																	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称																					
	国庫支出金		地域女性活躍推進交付金																					
	県支出金																							
	負担金等その他																							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			女性の活躍推進・就業率向上をめざして、それぞれのライフステージに合わせた、女性の多様な選択やチャレンジを支援し、女性の「働く」を応援する環境整備の一環として、女性活躍推進プラットフォーム事業「アシスタ lab.」を開設し、起業・就業の機運醸成と必要な支援を行う。 ○アシスタ lab.における女性の起業・就業支援のセミナー、専門家による個別相談、交流会等 ○女性起業家「みよしアントレヌ」認定、認定証の制作																					
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	委託料（①業務委託料（物件費））10,172千円 ・女性起業支援業務委託料 委託料：9,999,088円 委託内容：起業（創業）セミナー、就職セミナー、専門家による個別相談、交流会、会員によるトライアルチャレンジ、コーディネーター業務など ・女性起業家「みよしアントレヌ」認定証作成業務委託料 委託料：172,480円 R5年度みよしアントレヌ認定件数 14件																							
	別添資料等 無 （事業一覧等）		<table><tr><td colspan="2">R5実績</td></tr><tr><td>会員数(累計)</td><td>520人</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>2,430人</td></tr><tr><td>セミナー</td><td>297人</td></tr><tr><td>個別相談</td><td>21日 50人</td></tr><tr><td>交流会</td><td>4回</td></tr><tr><td>出張教室</td><td>5件</td></tr><tr><td>アントレヌ 認定数</td><td>14人 (累計)94人</td></tr></table>							R5実績		会員数(累計)	520人	利用者数	2,430人	セミナー	297人	個別相談	21日 50人	交流会	4回	出張教室	5件	アントレヌ 認定数
R5実績																								
会員数(累計)	520人																							
利用者数	2,430人																							
セミナー	297人																							
個別相談	21日 50人																							
交流会	4回																							
出張教室	5件																							
アントレヌ 認定数	14人 (累計)94人																							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			起業家数（みよしアントレヌ認定件数）は、毎年目標（10人/年度）を達成しており、女性のそれぞれのライフステージに合わせた、コーディネーターや各分野の専門家による個別相談など、多様な働き方が選択できるような伴走型の支援が成果を上げているといえる。年々会員数も増加しており、着実に実績を積み上げている。 創業セミナーでは、毎回定員を超える申込があり、また、交流会やマルシェ、トライアルを行うことで、起業を目指す方の成長の機会として、情報共有の場として大きな役割を担っている。しかしその反面、就業におけるセミナーが少なく、就業に繋がった件数も少ない。市のめざす姿を再度確認を行い、運營業務委託業者との協議が必要である。																					

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 共生社会推進課				
10	5	5							
事業名			スポーツのまちみよし応援事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)		10,600	8,692	0	1,908	82.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		8,692	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →		0	該当/頁	278
	臨時会 補正				⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →		8,692	該当/頁	279
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			地元チーム応援事業及び各種実行委員会によるスポーツ教室の未実施。また、女子サッカーチーム、アンジュビオレ広島の解散に伴う大会の未実施などによるもの。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	8,692		0	5,000	0	801	2,891		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		わがまちスポーツ推進事業補助金						
	負担金等その他		スポーツ・文化みよし夢基金の利子						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	全ての人がそれぞれのライフステージに応じたスポーツとのかかわり方を考え、「いつでも」、「どこでも」、「誰も」が普段の生活の中で自然とスポーツに親しみ、健康でいきいきと活力あふれる「スポーツのまちみよし」を実現することを目的に、「スポーツのまちみよし応援事業実行委員会」が中心となり、関係団体等との連携により各種スポーツの推進に係る取組を行う。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 8,691,446円 【事業内容】 ①地元チームを応援 サンフレッチェ広島と交流を図り、三次市の認知度向上を図った。 ②子どもの夢を応援 (トップアスリートとの交流等) トップアスリートによるスポーツ教室等の開催支援を行った。 ③スポーツ大会・合宿誘致 全国規模の大会・合宿等の誘致を行い「みる」機会を創出するとともに、地域や小中学校・高校とのスポーツを通じた交流人口の拡大を図った。 また、各地域の施設を利用した大会・合宿等の誘致を行い、施設の稼働率の向上と地域活性化を図った。 ④女子スポーツ応援 女子スポーツを推進し、女性の活躍の場の創出や、関係人口の拡大と地域活性化を図るため、実施事業に対し活動支援を行った。 ⑤Sport in Life推進 (スポーツの習慣化等) 市民がライフステージに応じた運動・スポーツを習慣化するきっかけづくりを目的とした取組を行った。 ⑥その他 「三次スポーツコミッション」の設立や中学校の部活動への移行等に係る検討及び必要な対応を行った。								
	 広島ドラゴンフライズプレシーズンマッチ (電光石火みよしパーク)  三次市チャレンジデー 2023								
別添資料等 有 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	女子野球ワールドカップを中心に地域活性化に取り組み、侍ジャパン女子代表強化合宿やワールドカップ期間中の保育所、幼稚園、小中高校を交流事業を行い、スポーツの魅力、国際交流、異文化交流を行い、通常ではできない経験をすることができた。また、広島ドラゴンフライズのプレシーズンマッチや女子野球の各種大会、イベントを通じて、地域活性化につながった。さらに、三次スポーツコミッション設立に向け、官民共創で準備委員会を立上げ、令和6年度のコミッション設立につなげた。								

令和 5 年度事業報告

令和 5 年度は、女子野球をきっかけに、子どもの夢の応援や女性活躍の推進、国際交流、異文化交流の再開・発展、さらには観光と連携したスポーツ交流人口の拡大をさせることを目的に「カーネクスト presents 第 9 回 W B S C 女子野球ワールドカップ・グループ B」を誘致しました。本実行委員会としても、国際ホスト局と連携しての情報発信、大学や市内小・中・高等学校との連携等を行い、関係人口の拡大に取り組みました。

また、「三次版スポーツコミッション」の設立に向けた取組として、ハブ機能を有した組織を構築するため、設立準備委員会を設置し、参加いただいた委員から助言をいただきました。

「地元チームを応援事業」としては、サンフレッチェ広島クラブ創立 3 0 周年を記念した企画「ぶらサンチェ」において、サンフレッチェ広島レジーナ選手及び三次の烏天狗に、本市の魅力を発信していただきました。

「子どもの夢を応援事業」としては、「女子サッカースクールプロジェクト」事業の他、事業実施のあった 2 事業に対し、支援を行いました。

「大会・合宿誘致事業」としては、冒頭部分で紹介した「カーネクスト presents 第 9 回 W B S C 女子野球ワールドカップ・グループ B」の誘致の他、侍ジャパン女子代表（マドンナジャパン）候補の強化合宿を誘致し、会場運営支援を行うとともに、「女子野球タウン」として世界に情報発信しました。また、9 月に広島ドラゴンフライズのプレシーズンマッチを開催し、三次市民招待事業や特設ブースでの観光情報等の発信などを行い、「スポーツのまちみよし」の P R を行いました。

「女子スポーツ応援事業」としては、年間を通して実施された中四国女子硬式野球リーグ「ルビー・リーグ」への支援を行いました。主に、審判団やアナウンスの派遣等により、選手がより良い環境でプレーできる環境づくりに取り組みました。また、11 月 1 0 日～12 日の 3 日間、市内外 7 会場において「第 9 回女子硬式野球西日本大会」を開催し、大会運営及び市内外への情報発信などに取り組みました。

「S p o r t i n L i f e 推進事業」としては、5 月 3 1 日に「三次市チャレンジデー 2 0 2 3」を実施し、市の公式ホームページや S N S 等を活用し、参加等の呼びかけを行いました。

1 会務

(1)第1回実行委員会

開催日 令和5年4月6日(木) 10時から

開催場所 みよしまちづくりセンター ペペらホール

議題 ①令和4年度スポーツのまちみよし応援事業 事業報告
②令和4年度スポーツのまちみよし応援事業 決算報告及び監査報告
③令和5年度スポーツのまちみよし応援事業 事業計画(案)
④令和5年度スポーツのまちみよし応援事業 収支計画(案)

2 「三次版スポーツコミッション」の設立に向けた取組

本事業では、既存の市内のスポーツ施設や事業拠点となるハード施設のさらなる活用を推進し、自治体だけでなく官民連携や民間事業者、女性の社会進出に向け、専門的なノウハウを有する事業者の支援により、地域スポーツを推進する組織にしていくため、「三次版スポーツコミッション」の具体化や機運醸成を図る取組を行いました。

(1)設立準備委員会の開催

①第1回設立準備委員会

日時 令和5年10月26日(木) 19時から

場所 三次市役所本館6階 603会議室

内容 ・令和4年度ワークショップの振り返り
・今後のスケジュールの確認

②第2回設立準備委員会

日時 令和5年11月17日(金) 19時から

場所 三次市役所本館6階 601会議室

内容 ・前回の振り返り
・スポーツコミッションとは
・スポーツツーリズムについて

③第3回設立準備委員会

日時 令和5年12月21日(木) 19時から

場所 三次市役所本館6階 601会議室

内容 ・前回の振り返り
・事業と組織について

④第4回設立準備委員会及び懇親会の開催

日時 令和6年1月26日(金) 18時から

場所 三次市役所本館6階 601会議室

内容 ・前回の振り返り
・令和6年度のSC事業計画について
・組織・人材について

※準備委員会終了後には懇親会を開催し、参加者で交流を図りました。

⑤第5回設立準備委員会

日 時 令和6年2月15日（木） 19時から
場 所 三次市役所本館6階 601会議室
内 容 ・事業と組織について
・名称・ロゴマークについて

⑥第6回設立準備委員会

日 時 令和6年3月15日（金） 19時から
場 所 三次市役所本館6階 601会議室
内 容 ・ロゴの選考
・組織及び役割

3 地元チーム応援事業

広島県を拠点とするチームを応援・支援するため、今年度は、サンフレッチェ広島と交流を図り、観客動員増に貢献したほか、三次市の認知度向上を図りました。

(1)サンフレッチェ広島公式 YouTube チャンネル「ぶらサンチェ」

サンフレッチェ広島クラブ創立30周年を記念し、広島県内の区市町（広島市内8区、広島県内の13市（広島市を除く）、9町）を合わせた30の地域を、サンフレッチェ広島の選手が訪れ、動画撮影を行い、各地域の魅力をYouTubeチャンネルで配信する特別企画です。

本市には、サンフレッチェ広島レジーナの山口千尋選手と上野真美選手が、「三次もののけミュージアム」と「もちのえき」を訪れました。

また、三次の烏天狗さんにもご出演いただき、選手と一緒に三次市の魅力を発信していただきました。



4 子どもの夢を応援事業

スポーツをしていない子どもを対象としたスポーツ体験企画や、プロ選手やトップアスリートによるスポーツ教室、交流事業などの開催や支援を行い、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりを行いました。

(1)サンフレッチェ広島レジーナ女子サッカースクールプロジェクトへの支援

男女の体力差の広がりや、市内に女子サッカークラブもない状況で、サッカーを続けることをあきらめざるを得ない女子児童・生徒を対象に、「サンフレッチェ広島」の普及ダイレクター塩崎浩作氏を講師に迎え、サッカーが継続してできる環境、新たにサッカーを始めるきっかけづくりにつなげました。

また、女子選手のみでの定期的な指導により、女子選手の練習環境の充実や技術向上に繋がりました。

主 管：三次地区女子サッカースクール実行委員会

事業内容：サッカー実技指導

日 時：令和5年4月～令和6年3月

会 場：みよし運動公園（運動広場ほか）

参 加 者：市内、市内近郊の小学生の女子児童・生徒

(2)三次市野球教室 i n きみたへの支援

三次市内児童・生徒のスポーツ活動への意欲の高揚を図るとともに、特に野球技術の向上を図るとともに、指導者に対する講習も実施し、市全体の野球技術のレベルアップを図る事業に対し支援を行い、参加者の野球技術の向上に寄与することができました。

主 管：三次市野球教室 i n きみた実行委員会

事業内容：広島東洋カープトレーナーによるヘルスケア・体力トレーニング
広島東洋カープ選手・コーチから野球の基礎知識を学ぶ

日 時：令和5年12月16日（土） 13時から

会 場：君田グラウンド

5 大会・合宿誘致事業

施設の稼働率向上や、新たなスポーツ交流の実現を目指すため、「カーネクト presents 第9回WBS C女子野球ワールドカップ・グループB」をはじめ、間近で「みる」機会を提供しました。

(1)「カーネクト presents 第9回WBS C女子野球ワールドカップ・グループB」の誘致

本市が「女子野球タウン」の認定を受け、女子野球に取り組むことで、女性活躍の場の創出、地域等との交流による関係人口の拡大、女子野球文

化を築きながら「スポーツのまちみよし」の実現をめざした取り組みを行いました。

①大会入場者数

日時		(一塁側) 先攻	(三塁側) 後攻	入場者数	
9/13 (水)	10:30	キューバ	チャイニーズタイペイ	100	2,294
	14:30	フランス	ベネズエラ	493	
	18:30	プエルトリコ	日本	1,701	
9/14 (木)	10:30	チャイニーズタイペイ	ベネズエラ	615	2,196
	14:30	キューバ	プエルトリコ	175	
	18:30	日本	フランス	1,406	
9/15 (金)	10:30	プエルトリコ	チャイニーズタイペイ	500	2,604
	14:30	フランス	キューバ	534	
	18:30	ベネズエラ	日本	1,570	
9/16 (土)	10:30	プエルトリコ	フランス	619	3,377
	14:30	チャイニーズタイペイ	日本	2,409	
	18:30	キューバ	ベネズエラ	350	
9/17 (日)	10:30	フランス	チャイニーズタイペイ	633	4,375
	14:30	ベネズエラ	プエルトリコ	984	
	18:30	日本	キューバ	2,758	

(総計 14,846 人)

②情報発信

大会の国際ホスト局である広島ホームテレビに情報発信支援業務を委託し、国際映像発信やドキュメント番組の制作・放送を行いました。また、各種メディアによる情報発信を行い、参加国や世界に本市の取組を広く周知し、本市を知っていただく、訪れていただくきっかけづくりを行い、関係人口の拡大につなげました。

ア 地上波テレビでの展開

大会告知CM、プロ野球中継中の告知など

イ デジタル媒体での展開

YouTube チャンネルでの配信など

ウ カウントダウンボードの設置

エ 懸垂幕・横断幕等の設置



③ ボランティアスタッフの募集

大会運営協力者（県内）

	運営関係者計	うち通訳ボランティア
三次市	58 人	2 人
県立三次高校	4 人	※場内アナウンス 3 人
広島東洋カープ	4 人	2 人
広島修道大学	17 人	17 人
女子野球チーム	55 人（4 チーム）	
広島県（調整者含む）	8 人	4 人
一般ボランティア	49 人	1 人



④ 関係機関との連携

ア 学校・保育施設の交流等

(ア)おもてなしポスター作製(保育施設)

保育施設名	作成枚数	保育施設名	作成枚数
和田保育所	1 枚	三次あゆみ保育園	1 枚
田幸保育所	1 枚	専法寺保育園	1 枚
栗屋保育所	1 枚	三次中央幼稚園	1 枚
みわ保育所	1 枚	十日市保育所	3 枚
愛光保育所	1 枚	子供の城保育園	3 枚
みゆき保育園	1 枚		



(イ) 事前の関連授業等実施

学校・対象	応援チーム	内容
三次青陵高校	チャイニーズタイペイ	応援チームの文化を理解するための授業 （講師：カープ球団職員）
栗屋小学校	日本	初心者向けティーボール教室 （講師：はつかいちサンブレイズ）
甲奴小学校	フランス	応援チームの文化・言語を学ぶ授業 （講師：広島修道大学留学生）
八幡小学校	チャイニーズタイペイ	応援チームの文化・言語を学ぶ授業 応援歌，応援メッセージ動画作成 （講師：カープ球団職員）

君田小学校	ベネズエラ	応援チームの文化・言語を学ぶ授業 (講師：広島県国際交流員)
布野小学校	プエルトリコ	応援チームの文化・言語を学ぶ授業 応援カード作成 (講師：広島県国際交流員)
作木小学校	キューバ	応援チームの言語を学ぶ授業 応援カード作成 (講師：カープ球団職員)
日彰館高校	フランス	応援チームの文化・言語を学ぶ授業 応援動画作成 (講師：広島修道大学留学生)
甲奴中学校	キューバ	応援チームの言語を学ぶ授業 応援メッセージカード作成 (講師：カープ球団職員)
青河小学校	日本	応援の横断幕作成
布野中学校	キューバ	応援の折り鶴作成
小童小学校	ベネズエラ	折り鶴等を使用したしおりを作って送る

(ウ)大会期間中の各チームとの交流

チーム	交流した学校	内容
日本	県立三次中学校	野球教室，クラス交流等
チャイニーズタイペイ	八幡小学校	八幡子ども太鼓の披露，折り紙交流等
ベネズエラ	十日市小学校	おにごっこ，キャッチボール等 選抜チームと野球のミニゲーム
プエルトリコ	布野小学校	おにごっこ，キャッチボール等
キューバ	甲奴中学校	キャッチボール等
フランス	三次小学校	神楽鑑賞，キャッチボール等

(2)「侍ジャパン女子代表（マドンナジャパン）強化合宿」誘致

①強化合宿の支援

「カーネクスト presents 第9回WBS C女子野球ワールドカップ・グループB」に向けた侍ジャパン女子代表の強化合宿を誘致し，会場運営を支援するとともに，「女子野球タウン」として，全国に情報発信しました。

日 時：令和5年7月6日(木)から9日(日)まで(4日間)

場 所：三次市みよし運動公園野球場「三次きんさいスタジアム」

②交流事業

スポーツを通して活躍する一流選手に触れ合うことで，女子野球に対する興味や関心を高めるとともに，「スポーツのまちみよし」の活性化に寄与しました。

ア 交通安全七夕まつり

日 時：令和 5 年 7 月 7 日(金) 10時から

場 所：三次市役所正面玄関先



イ 学校交流

日 時：令和 5 年 7 月 7 日(金)

訪問先：八次中学校 ※代表選手等 10 名

青河小学校 ※代表選手 5 名

栗屋小学校 ※代表選手 5 名



※予定されていた「阪神タイガースW o m e n」及び「読売ジャイアンツ女子チーム」とのエキシビジョンマッチは、雨天のため中止となりました。

(3)広島ドラゴンフライズ プレシーズンマッチ

令和 5 年 9 月 1 6 日(土)に電光石火みよしパークでプレシーズンマッチが開催され、試合会場に特設ブースを出展し、三次市の P R を行い、「スポーツのまちみよし」の認知度向上につなげました。

①プレシーズンマッチ概要

対戦カード：広島ドラゴンフライズ V S 島根スサノオマジック

日 時：令和 5 年 9 月 1 6 日(土) 13時5分試合開始

会 場：電光石火みよしパーク

②特設ブース出展

ア 配布物 (サンプリング)

(ア)観光パンフレット



- (イ) 三次市合宿パンフレット
- (ウ) シティプロモーションマスキングテープ
- (エ) 女子野球W杯チラシ
- (オ) 三次もののけミュージアムチラシ

③各種セレモニー

- ア オープニングセレモニー
- イ ハーフタイムイベント
- ウ マンオブザマッチ表彰



(4)広島ドラゴンフライズ学校訪問

三次市とパートナー契約を締結している広島ドラゴンフライズから、地域貢献活動の一環として、学校訪問に選手とコーチを派遣していただきました。

プロバスケットボールチームの広島ドラゴンフライズの選手やコーチから直接指導を受け、触れ合う機会を提供することで、子どもたちのバスケットボールへの関心を高め、競技人口の増加につなげました。

- ア 訪問先：三次市立河内小学校
 - 対象：3年生～6年生（11名）
 - 派遣者名：山崎 稜選手，高橋 孟秀スクールコーチ
 - 内容：バスケットボール教室，質疑応答
- イ 訪問先：三次市立和田小学校
 - 対象：5年生・6年生（23名）
 - 選手：船生 誠也選手，高橋 孟秀スクールコーチ
 - 内容：バスケットボール教室，質疑応答
- ウ 訪問先：三次市立神杉小学校
 - 対象：6年生（16名）
 - 選手：中村 拓人選手，高橋 孟秀スクールコーチ
 - 内容：バスケットボール教室，質疑応答，給食交流
- エ 訪問先：三次市立八幡小学校
 - 対象：2年生～6年生（17名）
 - 選手：ロバーツ・ケイン選手，高橋 遼太氏（通訳）
 - 富松 笑梨スクールコーチ

内 容：バスケットボール教室，質疑応答



5 女子スポーツ応援事業

女子スポーツを推進し，女性の活躍の場の創出や，関係人口の拡大と地域活性化を図るため，実施事業に対し活動支援を行いました。

(1)中四国女子硬式野球リーグ「ルビー・リーグ」2023の誘致

令和4年に引き続き「ルビー・リーグ」の誘致を行いました。今年度は3部制を適用し，入れ替え戦方式で次のとおり試合が開催され，女子野球選手の技術向上や，情報発信を行うことで女子野球の活性化につながりました。

また，「女子野球タウン」としての三次市の取組を広く発信することができました。

①試合結果

- ア 5月14日（日） 会場：カーター記念球場
岡山学芸館高校 2－1 高知中央高校（1部）
- イ 6月17日（土） 会場：カーター記念球場
MSH医療専門学校 1－3 はつかいちサンブレイズ（1部）
島根中央高校A 6－3 佐伯高校（2部）
島根中央高校B 0－2 瀬戸内ブルーシャインズ（3部）
- ウ 6月18日（日） 会場：カーター記念球場
島根中央高校A 0－1 山陽高校（2部）
岡山学芸館高校 3－2 広陵高校（1部）
はつかいちサンブレイズ 8－0 高知中央高校（1部）

- エ 7月16日(日) 会場：カーター記念球場
岡山学芸館高校 0－6 広陵高校(1部)
広陵高校 5－5 高知中央高校(1部)
- オ 9月23日(土) 会場：カーター記念球場
佐伯高校 7－0 マドンナ松山(2部)
至誠館大学 5－2 室戸高校(3部)
- カ 9月24日(日) 会場：カーター記念球場
広陵高校 1－3 IPU・環太平洋大学B(1部)
岡山学芸館高校 6－1 高知中央高校(1部)
MSH医療専門学校 1－3 IPU・環太平洋大学B(1部)
- キ 10月21日(土) 会場：カーター記念球場
島根中央高校A 10－7 新田高校(2部)
山陽高校 8－12 備前サンラッキーズ(2部)
至誠館大学 7－4 10CaratExpress(3部)
- ク 10月22日(日) 会場：カーター記念球場
岡山学芸館高校 5－4 MSH医療専門学校

②会場運営支援

「ルビー・リーグ」の開催に伴い、会場運営の支援を行いました。
これにより、選手がプレーしやすい環境づくりに努めました。また、地域のみなさんによる出店など、地元地域のみなさんとチームのメンバーが交流を深める取組も行いました。



(2)「第9回女子硬式野球西日本大会」観戦・交流

今年度は、11月10日から12日の3日間、西日本を中心に高校・社会人等29の女子硬式野球チームによる、市内外6会場での女子硬式野球大会を誘致し、市内外5会場の運営支援を行い、観戦・交流人口の拡大に寄与しました。

主 管：中四国女子硬式野球連盟

日 時：令和5年11月10日（金）・11日（土）・12日（日）

会 場：【市内4球場】

三次きんさいスタジアム，三次市営球場，カーター記念球場，
三和総合運動公園野球場

【市外3球場】

上下運動公園野球場（府中市上下町）

サンブレイズボールパーク（広島市佐伯区） ※廿日市市運営

吉和グラウンド（廿日市市吉和） ※廿日市市運営

ア 記録写真



三次きんさいスタジアム



三次市営球場



カーター記念球場



三和総合運動公園野球場



上下運動公園野球場



吉和グラウンド

6 Sport in Life 推進事業

(1) 三次市チャレンジデー2023

チャレンジデーは、(公財) 笹川スポーツ財団が主催する、住民参加型の運動・スポーツイベントであり、本実行委員会としても、市民誰もがスポーツを楽しみ、習慣化するきっかけとなるよう、チャレンジデーを実施し、市の公式SNS等を活用し、参加等の呼びかけを行いました。

【内容】

チャレンジデー当日の時間内に15分以上継続して運動し、市HPの参加報告フォームから報告するもの。

「三次市チャレンジデー2023」 結果

参加率 7.3% ※昨年度 6.08%

参加者数 3,601人 ※昨年度 3,065人

※チャレンジデーは、2023年の開催をもって全国一斉開催が終了。

款	項	目						
10	5	5	担当部局・課名	地域共創部 共生社会推進課				
事業名			女子野球ワールドカップ誘致事業					
事業区分		新規事業	第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)	7,000	7,000	0	0	100.0%
	②						0	
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			7,000	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →			0	該当/頁	278
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			7,000	該当/頁	279
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和5年度	7,000		0	0	0	5,000	2,000	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他		スポーツ・文化みよし夢基金					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	「女子野球タウン」としての知名度向上とあわせて, 女性活躍の推進や関係人口の拡大を図ることなどを目的として, 女子野球ワールドカップを誘致する。受入れにあたっては, 「スポーツのまちみよし応援事業実行委員会」を中心とする関係団体の連携により開催支援及び交流事業等を行う。これまでの「女子野球タウン」としての取組を評価されての開催決定であり, この機会を最大限に活用し, 「女子野球の聖地」の実現につなげていくことをめざす。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 7,000千円 ※その他, 継続事業 (8,692千円) は別途計上 【事業内容】 「カーネスト presents 第9回 WBSC女子野球ワールドカップ グループB」に係る開催支援及び交流事業等の実施 ・期 間 令和5年9月13日 (水) ~17日 (日) ・会 場 三次市みよし運動公園野球場 ・主 催 世界野球ソフトボール連盟 (WBSC) ・参加国 日本, チャイニーズ・タイペイ, フランス, ベネズエラ, キューバ, プエルトリコ ※その他詳細は別添え資料参照 【事業費内訳】 ・開催地負担金 5,000,000円 ・その他広報, 関連交流事業消耗品等 2,000,000円							
	別添資料等 有 (事業一覧等)		 グループBで優勝し, ファイナルステージへの切符を手にした侍ジャパン女子代表  日本 VS チャイニーズ・タイペイ 戦  ベネズエラチームと十日市小学校の交流					
成果/評価 * 事業を執行了ことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	国際ホスト局を中心に, 各メディアや広島東洋カープによる情報発信を行い, シティプロモーションを行った。また, 大会までの期間や大会期間中, 市内小中学校, 高等学校を中心に多くの交流事業などを行い, 国際交流, 異文化交流を行うことができた。さらに, 県や大学, 一般ボランティア, 市内小中高等学校, 保育施設, 各種団体, 企業の支援や協力を得たことで, 行政のみでなく全体で大会を盛り上げ, 関わる人・組織・団体・企業などを増やすことで関係人口が拡大した。 ・入場者数 14,375人 ※他, 別添え資料参照							

カーネクトpresents第9回WBSC女子野球ワールドカップグループB

1 大会概要及び日程

大会名：カーネクト presents 第9回WBSC女子野球ワールドカップグループB

会 場：三次きんさいスタジアム（三次市東酒屋町 10493 番地）

開催日：令和5年9月13日（水）から9月17日（日）まで 予備日18日（月・祝）
 （9月11日（月）） 選手団・役員三次入り
 （9月12日（火）） 公開練習
 （9月13日（水）～17日） 開幕（公式試合）

参加国・地域：（6カ国・地域）キューバ/フランス/プエルトリコ/

チャイニーズタイペイ/ベネズエラ/日本

主 催：世界野球ソフトボール連盟（WBSC）

共 催：（一財）全日本野球協会（BFJ） / （一社）全日本女子野球連盟（WBFJ）

主 管：三次市

2 大会入場者数

日時		（一塁側）先攻	（三塁側）後攻	入場者数	
9/13（水）	10:30	キューバ	チャイニーズタイペイ	100	2,294
	14:30	フランス	ベネズエラ	493	
	18:30	プエルトリコ	日本	1,701	
9/14（木）	10:30	チャイニーズタイペイ	ベネズエラ	615	2,196
	14:30	キューバ	プエルトリコ	175	
	18:30	日本	フランス	1,406	
9/15（金）	10:30	プエルトリコ	チャイニーズタイペイ	500	2,604
	14:30	フランス	キューバ	534	
	18:30	ベネズエラ	日本	1,570	
9/16（土）	10:30	プエルトリコ	フランス	619	3,377
	14:30	チャイニーズタイペイ	日本	2,409	
	18:30	キューバ	ベネズエラ	350	
9/17（日）	10:30	フランス	チャイニーズタイペイ	633	4,375
	14:30	ベネズエラ	プエルトリコ	984	
	18:30	日本	キューバ	2,758	

（総計 14,846人）

3 大会運営協力者（県内）

	運営関係者計	うち通訳ボランティア
三次市	58人	2人
県立三次高校	4人	※場内アナウンス3人
広島東洋カープ	4人	2人
広島修道大学	17人	17人
女子野球チーム	55人（4チーム）	
広島県（調整者含む）	8人	4人
一般ボランティア	49人	1人

4 学校・保育施設の交流等

① 事前の関連授業等実施

学校・対象	応援チーム	内容
三次青陵高等学校 (2年生 76人)	チャイニーズタイ ペイ	応援チームの文化を理解するための授業（講師：カープ球団職員）
栗屋小学校 (全児童 24人)	日本	初心者向けティール教室 (講師：はつかいちサンブレイズ)
甲奴小学校 (5・6年生 18人)	フランス	応援チームの文化・言語を学ぶ（講師：広島修道大学留学生）
八幡小学校 (5・6年生 7人)	チャイニーズタイ ペイ	応援チームの文化・言語を学ぶ（講師：カープ球団職員） 応援歌作成，メッセージ動画作成
君田小学校 (全児童 41人)	ベネズエラ	応援チームの文化・言語を学ぶ授業 (講師：広島県国際交流員)
布野小学校 (5・6年生 18人)	プエルトリコ	応援チームの文化・言語を学ぶ授業 応援カード作成 (講師：広島県国際交流員)
作木小学校 (5・6年生 15人)	キューバ	応援チームの言語を学ぶ授業 応援カード作成（講師：カープ球団職員）
日彰館高等学校 (全生徒 207人)	フランス	応援チームの文化・言語を学ぶ授業，応援動画作成 (講師：広島修道大学留学生)
甲奴中学校 (全生徒 30人)	キューバ	応援チームの言語を学ぶ授業，応援メッセージカード作成 (講師：カープ球団職員)
青河小学校 (全児童 20人)	日本	応援の横断幕作成
布野中学校 (全生徒 21人)	キューバ	応援の折り鶴作成
小童小学校 (全児童 16人)	ベネズエラ	折り鶴等を使用したしおりを作って送る

② 大会期間中の各チームとの交流

学校・対象	応援チーム	内容
県立三次中学校 (1・3年生 160人)	日本	グループに分かれて野球教室，クラス交流等
八幡小学校（全児童 17名）	チャイニーズタイペイ	八幡子ども太鼓の披露，折り紙交流等
十日市小学校（5年生 94人）	ベネズエラ	おにごっこ，キャッチボール等で交流，選抜チームと野球のミニゲーム
布野小学校 (放課後児童クラブ等 20人)	プエルトリコ	おにごっこ，キャッチボール等でふれあい
甲奴中学校（野球部等：9人）	キューバ	キャッチボール等
三次小学校（全児童，地域住民）	フランス	神楽鑑賞，キャッチボール等でふれあい

③ 来場応援・観戦

学校名	応援国	観戦人数
みらさか小学校	—	95人
青河小学校	日本	25人
河内小学校	—	23人
布野中学校	フランス	28人
神杉小学校	プエルトリコ	22人
八幡小学校	チャイニーズタイペイ	23人

君田小学校	ベネズエラ	47 人
三次青陵高等学校	チャイニーズタイペイ	240 人
甲奴中学校	キューバ	39 人
布野小学校	プエルトリコ	63 人
田幸小学校	プエルトリコ	42 人
川西小学校	プエルトリコ	18 人
日彰館高等学校	フランス	233 人

④ おもてなしポスター作成（保育施設）

保育施設名	作成枚数
和田保育所	1 枚
田幸保育所	1 枚
栗屋保育所	1 枚
みわ保育所	1 枚
愛光保育所	1 枚
みゆき保育園	1 枚
三次あゆみ保育園	1 枚
専法寺保育園	1 枚
三次中央幼稚園	1 枚
十日市保育所	3 枚
子供の城保育園	3 枚

台湾に勝利し、ファイナルステージ進出を決めて喜ぶ日本代表選手たち＝16日（撮影・山下啓史）



日本戦観客数 5試合9844人



日本代表を応援する観客（17日）

世界大会運営市民ら一丸

三次市のみよし運動公園野球場（東酒屋町）で13～17日に開かれた女子野球ワールドカップ（W杯）グループBは、7連覇を目指す日本代表が全勝でファイナルステージ進出を決めた。中国地方初の大会の運営を市内外のボランティアスタッフが支え、観光関係者も全面協力。女子野球タウン三次の新たなページを刻んだ。

（加茂孝之）

日本、キューバ、フランス、プエルトリコ、台湾、ベネズエラの6チームが総当たりで戦った。市によると期間中、1日約120人がボランティアで通訳や観客誘導、場内清掃、チケットもぎり

大会関係者や選手は期間中、三次グラウンドホテル（十日市南）と、今春開業したホテルルートイン三次駅前（同）に宿泊した。地元为学校訪問や観光体験にも参加した。ホストの同市は、開催地負担金や広報費用などとして本年度計約1800万円を予算計上し、運営に携わった。地域振興課は「急な予定変更など国際大会の難しさもあったが、無事に終えられたのは大きな前進」と強調。その上で「女子野球タウンのさらなる発展に向けて、市内部だけでなく市民や企業、民間団体などとの連携を強めていきたい」としている。



主催の世界野球ソフトボール連盟（WBSC）などによると、有料の日本戦の観客数は、最終第5日のキューバ戦の最多2758人を含め5試合計9844人。それ以外の各試合は数百人が観戦し、世界レベルのプレーを体感した。

款	項	目	担当部局・課名	地域共創部 共生社会推進課
10	5	5		

事業名	スポーツのまちみよし応援事業（女子野球ワールドカップ情報発信支援事業）
-----	-------------------------------------

事業区分	新規事業	第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」
------	------	--------------------------

事業 (経費) 内の主 な費目	節名称	細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金	⑤補助金（補助費）	11,000	11,000	0	0	100.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	

補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡	11,000	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし " 0 " を挿入 ➡	0	該当／頁	278	
	臨時会 補正	第 2 回臨時会	⑧（⑥ + ⑦）事業決算合計額 ➡	11,000	該当／頁	279	

100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）	
-------------------------	--

歳入に関する 項目	決算額 （⑧）	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度	11,000	0	0	0	11,000	0
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金等その他	ふるさと創生基金繰入金				

事業内容及び めざした目的 （具体的に）	第9回WBSC女子野球ワールドカップグループラウンドB in 三次の開催を軸に、国際ホスト局の各種メディアによる情報発信を行い、ワールドカップを機に参加国や日本全国に本市と取組を広く周知し、本市を知っていただく、訪れていただくきっかけとすることで、関係人口の拡大につなげる。
----------------------------	---

事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	負担金、補助及び交付金（⑤補助金（補助費））11,000千円			
	大会の国際ホスト局である広島ホームテレビに情報発信支援業務を委託し、国際映像発信やドキュメント番組の制作・放送を行った。また、各種メディアによる情報発信を行い、参加国や世界に本市の取組を広く周知した。			
	●地上波テレビでの展開 大会告知CM、プロ野球中継中の告知など			
	●デジタル媒体での展開 YouTubeチャンネルでの配信など			
				
別添資料等	10/14放送 ドキュメンタリー番組 「世界が三次にやってきた！ ～女性がずっと野球ができる世界へ～」			
無 (事業一覧等)				

	施策	提案尺・本数(計)	結果
CM、告知	CM	300本	687本
	勝ちグセ中継	5分	6分16秒
番組	ピタニュー	30分	4時間20分15秒
	フロントドア	7分	1時間06分52秒
	カーブ道	20分	23分30秒
	せとチャレ	20分	23分30秒
	ニュース番組	※追加施策	3分36秒
	ドキュメント広島	※追加施策	25分
デジタル	ひろしまリード	記事2本	記事2本
	CarpCarpCarp	記事2本	記事2本
	勝ちグセスポーツ	トークLIVE3回	トークLIVE2回
	HIPPY企画	※追加施策	1回

成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	国際ホスト局である広島ホームテレビを中心に、各メディアや広島東洋カープによる情報発信を行い、国内のみならず海外に対してもシティプロモーションを行った。また、本市を知っていただき訪れていただくきっかけづくりを行い、関係人口の拡大につながった。
--	--

令和 5 年度 三次市			一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート				NO, 23		
							(単位：千円)		
款 項 目			担当部局・課名		地域共創部 共生社会推進課				
10	6	1							
事業名			スポーツのまちみよし応援事業（スポーツ等合宿助成事業）						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金，補助及び交付金	⑤補助金（補助費）		4,000	3,253	0	747	81.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥（①～⑤の計） ➡		3,253	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		0	該当／頁	280
	臨時会 補正		第 2 回臨時会		⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 ➡		3,253	該当／頁	283
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	3,253		0	0	0	0	3,253		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			各スポーツ施設等を利用した合宿，大会等における宿泊の費用を助成し，施設の稼働率の向上及びスポーツを通じた交流人口の拡大をめざす。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			負担金，補助及び交付金（⑤補助金（補助費））3,252,110円 スポーツ合宿やスポーツ大会のため，三次市内に宿泊し，三次市内のスポーツ施設等を利用した団体等に対し宿泊助成を行った。 ・申請件数 91件（内訳：合宿 37件，大会54件） ・延べ利用者数 3,182人 ・利用のあったスポーツ施設等 みよし運動公園，三和総合運動公園，みらさか学園グラウンド，三良坂運動公園，電光石火みよしパーク，こぶしの森体育館，三和農業者トレーニングセンター，栗屋西自治交流センター，吉舎B&G海洋センター，布野運動公園，酒屋体育館，塩町中学校体育館，高校駅伝コース，川西小学校体育館 ほしはら山の学校，十日市親水公園，吉舎農山村広場  三次市で開催されたスポーツ大会 （第9回女子硬式野球西日本大会）						
別添資料等 無 （事業一覧等）			・申請のあった種目 サッカー，野球，陸上競技，ソフトテニス，バスケットボール，剣道，バレーボール，新体操，バドミントン，ハンドボール						
成果/評価 * 事業を執行したことにより，どのような成果や効果をもたらしたのか			施設の稼働率の向上及びスポーツを通じた交流人口の拡大に寄与した。						

款	項	目							
10	6	2	担当部局・課名		地域共創部 共生社会推進課				
事業名			みよし運動公園陸上競技場改修事業						
事業区分		新規事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委 託 料	④調査測量設計監理等委託料		19,228	19,228	0	0	100.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		19,228	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →		0	該当/頁	284
	臨時会 補正		第 2 回臨時会		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →		19,228	該当/頁	285
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	19,228		0	0	0	0	19,228		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	築30年を経過し、耐用年数超過した「みよし運動公園陸上競技場」について、日本陸上競技連盟からの助言内容に対応した陸上競技場下層からの改修を行うため調査測量設計を行ったもの。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	委託料 (④調査測量設計監理等委託料) 19,228千円 みよし運動公園陸上競技場大規模改修工事測量設計業務委託								
	  中国実業団陸上競技選手権大会								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	みよし運動公園陸上競技場は、令和 5 年 3 月で整備から30年を経過し、競技場内を基層から改修する時期を迎えることから、引き続き安全で快適なスポーツ環境を提供するため、大規模改修に向けた調査測量設計を行った。測量及び設計の成果は、今後の部分改修等に役立てることができる。								

令和 5 年度 三次市			一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート			NO, 25			
			(単位：千円)						
款 項 目			担当部局・課名		地域共創部 共生社会推進課				
10	6	2							
事業名			三和総合運動公園トイレ改修事業						
事業区分		新規事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委 託 料	④調査測量設計監理等委託料		858	858	0	0	100.0%
	②	工事請負費	①工事請負費		10,510	10,510	0	0	100.0%
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①～⑤の計) ➡		11,368		決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		0		該当／頁	284
	臨時会 補正	第 2 回臨時会		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 ➡		11,368		該当／頁	285
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	11,368		0	0	10,600	0	768		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			老朽化したトイレを改修（一部洋式化）し，利用者の安全性・快適性の向上と，施設全体の利用者数の増加及び施設の長寿命化を目指す。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等			委託料 (④調査測量設計監理等委託料) 三和総合運動公園トイレ改修工事設計監理業務委託 858,000円						
			工事請負費 (①工事請負費) 三和総合運動公園トイレ改修工事 10,509,400円 ※洋式トイレ男女各2基整備						
別添資料等			 						
無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより，どのような成果や効果をもたらしたのか			女子硬式野球西日本大会をはじめ，各種大会を開催する際に，誰もが安心して快適に利用できる環境を創出した。						